

荒川の人

第263回

一枚のチラシが少年を囲碁の道に導いた!
新進気鋭のプロ囲碁棋士。

囲碁棋士 **三浦 太郎**さん

2004年生まれ。小学2年生から囲碁を始める。4年生、5年生時に荒川区文化祭 区民囲碁大会棋聖戦の部で連覇を達成。2016年、第37回文部科学大臣杯少年少女囲碁大会全国大会(小学生の部)で初優勝を飾り、小学生名人に輝く。その後、日本棋院の院生となり、2019年には日本棋院の冬季棋士採用試験で1位通過を果たし、プロ棋士となる。洪清泉四段門下。棋士段位は初段。日本棋院東京本院所属。



思 慮深い受け答え、ピンと伸びた背筋、囲碁の対局時に着用するネイビーのスーツも手伝って、この春に中学校を卒業したばかりとは思えない落ち着きを漂わせる三浦太郎さん。囲碁との出会いから15歳にして、実力だけがものを言う厳しい勝負の世界に飛び込んだ現在の気持ちなどを伺いました。

町屋文化センターで開催された
こども囲碁教室で花開いた才能

三浦さんが囲碁を始めるきっかけとなったのは、小学2年生の時に家族の勧めで参加した伝統文化こども囲碁体験教室(主催:荒川文化団体連盟・荒川囲碁連盟)でした。毎週日曜日、町屋文化センターで開催される囲碁教室で三浦さんはメキメキと実力を身につけていきます。当時は水泳、バイオリンなどの習い事にも通っていましたが、心の底から楽しいと思えたのは囲碁だけだったそうです。「勝ったり負けたりを繰り返すうちに、囲碁が好きになっていきました。教室の自由な雰囲気も僕に合っていたんだと思います」



昨年12月、プロ入りを報告するため西川太一郎区長を訪問。

当時の伝統文化こども囲碁体験教室のチラシや日記などを自宅から持参してくれた三浦さん。奇しくもインタビューは囲碁と初めて出会った町屋文化センターで行われました。幼かったこともあり、当時の記憶はあいまいですが、囲碁教室が開催されていた部屋に視線を向けると、無我夢中で碁盤に向かったあの頃の思い出がよみがえってきたようです。

詰碁で強さに磨きをかけ
少年少女囲碁大会を制し、小学生名人に

囲碁教室のほか、南千住にあった囲碁カフェで大人との対局も重ねることで、着実に力をつけていった三浦さん。4年生で囲碁のアマチュア愛好家が集う国内有数の大会「榴石会(りゅうせきかい)」において初段クラスで優勝すると、洪清泉(ほんせいせん)四段が師範を務める道場に通い始めます。

囲碁の上達には「対局」、対局した碁の手順を記録した棋譜から打ち方を研究する「棋譜並べ」、先を読む力を鍛える「詰碁」といった勉強が欠かせません。多くのプロ棋士を輩出してきた洪道場は、とりわけ詰碁を重視した道場だと三浦さんは言います。それまでは詰碁をまったく行ってこなかった三浦さんでしたが、洪道場で研鑽を積むことで、さらなる棋力を身につけていきました。「道場で年下の子に負けて落ち込むこともありましたが、それでも洪道場に入ったことで視野が広がりましたし、物事をより深く考えられるようになったと思います」洪道場に通い始めた頃から自然とプロ棋士になることを意識していったそうです。

6年生の時に開催された第37回文部科学大臣杯少年少女囲碁大会では、みごと全国の小学生の頂点に。少年少女囲碁大会は、国民栄誉賞を受賞した井山裕太九段も優勝経験のある小学生と中学

生の囲碁日本一を決める大会です。全国大会もさることながら強豪ひしめく東京都予選を勝ち取るのも一筋縄ではいきません。三浦さんは東京都予選で優勝候補と目されていたライバルを下し、代表の座を獲得。5年生の時は予選で惜しくも敗退していただけに小学生名人に輝いた喜びはひとしおだったそうです。

一戦一戦、一手一手を大事に
静かな闘志を胸に秘め勝負の世界を歩む

昨年、日本棋院の冬季棋士採用試験で1位通過し、ついにプロの囲碁棋士に。対局は長時間におよぶこともあり、囲碁の世界は体力も試されます。対局が行われない日であってもネット対戦など強くなるための研究に多くの時間を費やす、まさに囲碁漬けの日々。それでも暇を見つけては東日暮里にある「Y」ロッククライミングジムや、あらかわ遊園スポーツハウスに足を運び、気分転換を図っているとのこと。また、脳のエネルギーでもあるブドウ糖を補給するためにラムネを携帯するなど、プロとして勝ち抜くためのコンディショニングづくりを日頃から心がけています。

勝っても負けてもそこから多くの経験が積める若い今が一番伸びる時期だと先輩の棋士からアドバイスを受けた三浦さん。日本棋院に所属する約340人の囲碁棋士の仲間入りを果たし、これからのような棋道を歩もうとしているのでしょうか。「大きなタイトルを獲得することよりも、まずは一戦一戦、一手一手を大事にしていきたいです。幼い頃の自分が伝統文化こども囲碁体験教室で囲碁と出会ったように、いつか子どもたちに向けた普及活動にも携われたら嬉しいですね」

プロとして歩み始めた三浦太郎さんのこれからの活躍は子どもたちに囲碁の魅力を伝え、新たな才能を生み出す「布石」となることでしょう。

ACC 友の会 入会のご案内

会員になるとお得な特典がいっぱい!

特典

- ① 公演チケットが割引で購入できます
(ACCの全ての公演チケットが原則1割引)
- ② 人気の公演チケットを一般販売に先立って購入できます
(ご希望の席を早めにゲット!)
- ③ 会員だけのお得情報が届きます
(先行販売やチケットプレゼント等の情報満載の「友の会通信」)

会費

口座会員 1,300円/年
※年間2枚以上のチケット購入で、年会費以上の割引になることも!
現金会員 1,500円/年

≡ 口座会員だけの便利な特典 ≡

- 電話で予約したチケットを自宅へ郵送! しかも送料無料
(口座引き落としの手続き完了後からとなります)
※窓口でチケットを買いに行く手間が省けます。
忙しい方に特におすすめ!
- 毎年の窓口での更新手続きが不要!
※窓口に行く必要がなく、更新のし忘れもありません!

● 入会条件: どなたでもご入会いただけます。● 会費: 年会費(口座会員1,300円/現金会員1,500円) ● 会期: 入会した日から、翌年同月の末日まで ● 会員種別①現金会員: 年会費やチケット代金を現金でお支払い②口座振替会員: 年会費、チケット代金をご指定の口座より引き落とし(振替手数料は無料) ● 入会方法: 入会申込書に必要事項をご記入のうえ、年会費を添えてお申込みください。(受付窓口)町屋文化センター